

-----4月20日-----

2015年

※ 今週のアウトルック (4/20~4/24)

先週は、ドル売りが中心となる週となりました。

6月利上げの可能性が大きく後退していることが、主な原因のように思います。米国の経済指標もあまり良くないものが多く、市場センチメントをより傾ける結果となっているように思います。

今週はもう一段のドル売りがあるかどうか、まず焦点となりそうです。また、相変わらずギリシャ問題も予断を許さない状況が続いているため、問題解決への進展、あるいはデフォルトへ向けた決定的な出来事などがあつた場合、ユーロへどのような影響を与えるか、この辺りにも注意を払う必要がありそうです。

先週ドル円は、118円台後半まで下落しました。CPIなどの結果も、6月利上げの可能性を高めるようなものとはならず。市場心理としては、9月利上げの可能性を織り込んでいる過程のようにも思います。

今週は118.5円付近のサポートラインを割って、もう一段ドル安が進むのか、サポートラインで踏みとどまって、ここから一度反発するのかにより、今後の展開が大きく変わってくるように思います。

テクニカル的には、もう一段ドル安が進む可能性が幾分高いように思います。

ドル円の予想レンジは117円から120.5円です。

先週ユーロは、結果的には上昇することとなりましたが、前半にサポートライン突破をトライするも失敗し、ドル売りの反動がユーロを押し上げているようにも感じます。

今週は、もう一段のドル売りがあるかどうかにも影響されそうですが、ギリシャ問題の影響や、株価停滞などによるリスクオフ懸念の拡大などが進んだ場合、再びサポートライン突破を試みる可能性もあるように思います。

ユーロ円の予想レンジは125円から131円です。

ポンド円は、サポートライン突破の失敗から一時的なリバウンド状態にあるように思います。今週は、週初めから再びサポートライン突破への動きが出た場合には、クリアしてしまう可能性が幾分高くなるように思います。

ポンド円の予想レンジは170円から180円です。

今週は、ドル売りがもう一段進むのか、それとも一度反発するのかによって、大きく変わりそうですが、先週のように要人発言で大きく流れが変わってしまうこともあるので、十分な注意が必要なように思います。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。